

緑内障薬物療法の新たな展開

日時

2015年9月13日(日) 8:00~8:50

会場

第1会場(ウインクあいち 2-3階 大ホール)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38



座長

白土 城照 先生 四谷しらと眼科 院長

座長のことば

2014年12月にROCK阻害点眼剤(製品名:グラナテック点眼液0.4%、一般名:リバスジル塩酸塩水和物)が発売となった。これまでの緑内障薬物療法は「房水産生抑制」または「副流出路からの房水流出促進」のいずれかに作用する薬剤の組み合わせで行われてきたが、グラナテックは「主流出路からの房水流出促進」作用を有する薬剤であり本剤の登場によって緑内障薬物治療の選択の幅が大きく広がった。本セミナーでは、東北大学 中澤 徹 先生に緑内障性視野障害進行抑制に対する多面的な考え方について整理して頂き、また、熊本大学 谷原 秀信 先生にはROCK阻害薬の特性および今後の展望についてお話を頂く。これらの最新の緑内障薬物療法を日常診療にどう活かしていくか、本セミナーを通じて考えてみたい。

講演1



視野進行抑制へのアプローチ

演者

中澤 徹 先生

東北大学大学院医学系研究科 神経感覚器病態学講座・眼科学分野 教授

講演2



ROCK阻害薬の特性を探る

演者

谷原 秀信 先生

熊本大学大学院 生命科学研究部 眼科学分野 教授